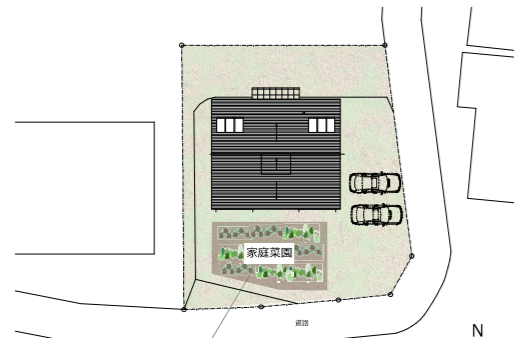




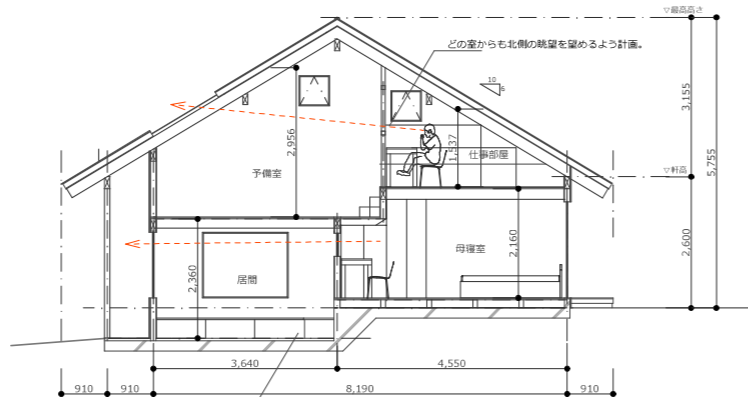
□コンセプト

家族の成長と共に長い間暮らすことができる家として、多様な居場所が集まった愛着が生まれる「巣」のような住まいを考えました。
 平面計画では、建物南側の日当たりの良い位置に家庭菜園を配置し、建物の南北を貫通するように土間のキッチンとダイニングを設けました。土間空間は、世帯間の適度な距離を作ると同時に、一緒に料理をしたり「食」を通して日々の交流を築く役割を持ちます。
 将来における可変性と共に、自然のおおらかさに寄り添うように、全体を大きなワンルームとして、床の高さをずらすことで各空間を分けました。大きな吹抜け空間となる土間上部は、小屋組の水平力を担うための小屋貫を設け、構造材の存在感を軽減するために、小屋束を含めて小断面の木材を細かい間隔で計画しています。これにより、1階と2階、また2階の対岸への視線が少し遮られ、個の居場所も確保しながら、どこにいても家族の気配を感じられる住まいを目指しました。



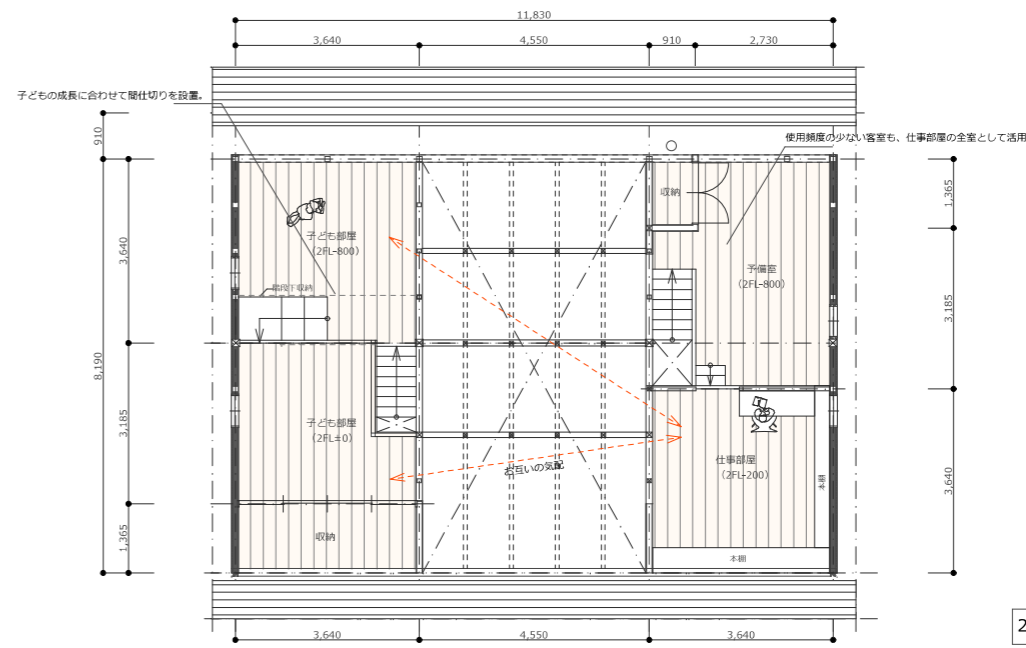
建物南側に配置した家庭菜園は、地域住民とのコミュニティを育みながら、開口部の多い建物北面への緩衝体となる。

配置図

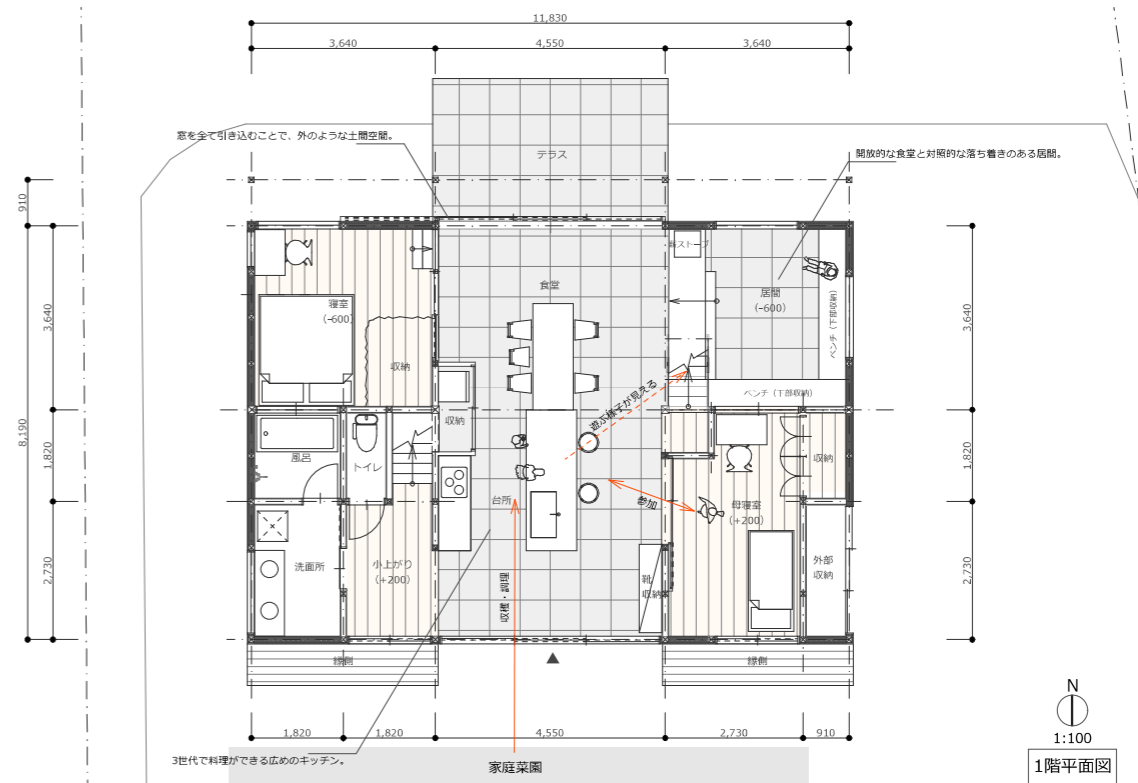


地形に沿うように床を下げることによって景色の切り取り方が変わる。

断面図



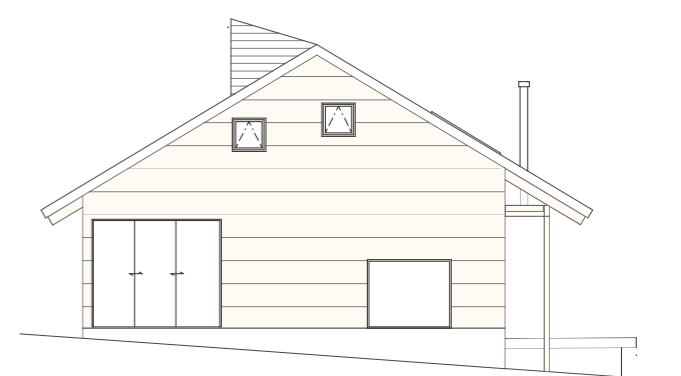
2階平面図



1階平面図



南立面図



東立面図

計画概要

敷地面積	587.96㎡
建築面積	96.89㎡
延べ床面積	156.52㎡
建ぺい率	16.4%
容積率	26.6%
最高高さ	5.75m